

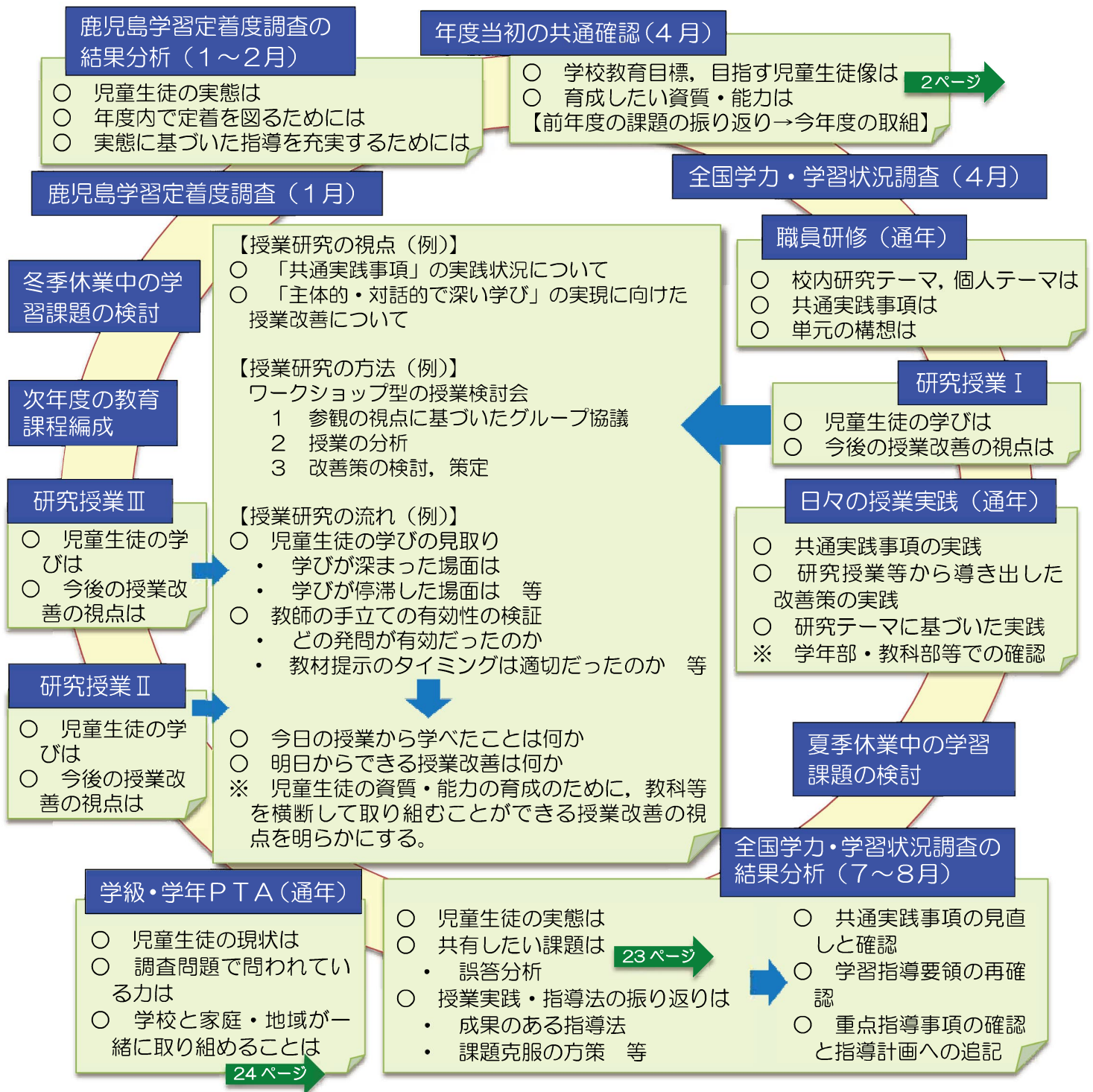
Ⅲ 学び続ける教職員であるために

1 組織で取り組む学力向上のサイクル

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を進めるためには、学力向上を目指した授業づくりや校内研修の充実を図り、教師が学年や教科を超えて組織的に学力向上のサイクルを意識して取り組むことが大切です。

それぞれの時期に応じて学校全体で行う学力向上の取組を参考例として示します。次ページに自校の実態に合わせた「本校の学力向上のサイクル」を作成してみましょう。

【学校全体で取り組む学力向上のサイクル（例）】



2 本校の学力向上のサイクル

2 ページに記入した「本校が育む児童生徒の姿」を基盤として、どのようなサイクルで学力向上に取り組むのかまとめてみましょう。

研究テーマ

全体：

個人：

鹿児島学習定着度調査（1月）

全国学力・学習状況調査（4月）

（例）わたしが取り組む授業改善は
今年度の校内研究で深めたいことは

全国学力・学習状況調査の
結果分析（7～8月）

- ※ 本ページを拡大コピーして、どの時期に何をするのか、付箋を貼って相互確認するなど、ワークショップ形式で作成することもできます。
- ※ 本ページを毎年、「かごしま学力向上支援Webシステム」からダウンロードして、新しく記入して重ねて貼ることで、前年度までの取組を確認しながら、より一層の改善や工夫をすることができます。

3 学力調査等の結果分析

学力調査等では児童生徒一人一人が「何を間違えたのか」、「なぜ間違えたのか」についてしっかりとした要因分析を行い、授業改善をはじめとする今後の指導に反映することが大切です。

右の問題は、平成29年度全国学力・学習状況調査の小学校国語Aで、手紙の後付けに必要な日付、署名、宛名のそれぞれの位置について出題されたものです。

正答率は41%でした。しかし、解答類型2及び3と誤って解答した児童は50%です。

なぜ、解答類型2や3と解答した児童が多いのでしょうか。

また、今後は、どのような対策をとり、指導に反映すればよいのでしょうか。

学年や教科の枠を超えて全職員で要因分析に取り組み、共通理解・共通実践することが大切です。

正答	解答類型				反応率(%)
	1	ア 自分の名前	イ 日付	ウ 相手の名前	8
	2	ア 日付	イ 相手の名前	ウ 自分の名前	21
	3	ア 相手の名前	イ 日付	ウ 自分の名前	29
○	4	ア 日付	イ 自分の名前	ウ 相手の名前	41
	上記以外				1
	無解答				0

ウ

ア

イ

【2】 松本さんは昔の人々の暮らしに興味をもち、学校の近くにある歴史資料館へ行きました。その後、お世話になった資料館の山村さんに、お礼の手紙を書いていました。次の「山村さんへの手紙」をよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【山村さんへの手紙】

緑が美しい季節となりました。先日はお会いしたところ、歴史資料館を案内していただき、ありがとうございました。実際に資料館を見学することで、昔の人々の暮らしについて考えることができました。

特に心に残っているのは、「昔のくらし体験コーナー」です。せんたく板を使ってあらうと、せんたく機だけでは落ちないようなよごれがきれいに落ちたのでびっくりしました。また、汚れを落とすには時間がかかり、うでがいたくなることを実感しました。今は自動でせんたくができて、その間に他の仕事をすることもできます。でも、昔はせんたく板を使い、長い時間をかけてせんたくをしていたことが、今回の見学を通して分かりました。

昔のくらしのよいところや大変なところを知ることができ、もっと調べてみたいになりました。これからも、いろいろなことをわたしたちに教えてください。

平成29年度全国学力・学習状況調査国語A問題から

【分析と対策】

① 設問の趣旨の確認

手紙の構成を理解し、後付けを書くことができるかどうかをみる。

② 誤答の要因分析

- 自分の名前を最後に書くものと誤解
- お礼の手紙を書かせる活動で、後付けに関する指導が不足
- 手紙を書いた経験の不足

③ 学習指導要領及び解説の確認

- [国語科第3学年・第4学年「言語活動例」]
- イ 行事の案内やお礼の文章を書くなど、伝えたいことを手紙に書く活動
- ・ 学校行事について案内する文章や、地域の活動などでお世話になった方々へのお礼の手紙を書く活動
 - ・ お礼の手紙を書く際には、表書きの住所や宛て名を正しく書くことや、後付けにおける署名や宛て名の位置関係といった基本的な形式などを押さえることが必要
 - ・ 各教科等の学習や学校の教育活動全体との関連を図り、実際に書いて伝えたり、反応を受け取ったりすることができるよう工夫

以下の資料を活用することで、効率的に分析し対策を考えることができます。

【国立教育政策研究所】

- 「全国学力・学習状況調査 報告書」
- 「全国学力・学習状況調査 授業アイデア例」

【鹿児島県教育委員会】

- 「全国学力・学習状況調査鹿児島県結果分析」

④ 具体的な対策（年間指導計画への朱書）

[3, 4年生]

書写： 後付けの書き方を意味まで確認して指導（重点指導単元）

[5年生]

国語： 「敬語」を使うときの話や相手の立場を考える時間の充実

[6年生]

調査問題の補充指導と、やり直しによる定着

[共通]

手紙を書く学習活動を、国語科との関連を図りながら、各教科等に意図的、計画的に設定

(例) 総合的な学習の時間にお世話になった講師の方に手紙を書く。

※ 「活用を問う問題」の結果分析例も、かごしま学力向上支援Webシステムの「学びの羅針盤・資料集」に掲載していますので、参考にして授業改善に生かしてください。

【協議の視点】

- 児童生徒のつまずきの要因を改善するために、どのような授業改善ができるだろうか。
- 教科や学年の枠を超えて取り組めることは何だろうか。